## ボーダレス

## ワインを知らずに育った 4人の織り成す物語

中野 理惠

久々に「頑張って! |とスクリーンに向かって 応援したくなる作品だった。本作は、2017年にフ ランスのブルゴーニュで開催された〈世界ブライ ンドワイン・テイスティング選手権〉に出場した、 4名のジンバブエ出身のソムリエ男性たちを追っ たドキュメンタリーである。

まずはウィキペディアで〈ジンバブエ〉を検索 する。南アフリカ共和国に近い内陸の国だ。そう 言えば、国名とムガベ大統領の名前は記憶に残っ ていたが、その他は何も知らない。何と〈ワイン のない〉国だとのことである。

ところで、2013年に始まった、この〈ワインの ブラインド・テイスティング〉では白と赤、合計 12の種類のワインを口にして、当てなければな らないのだが、そこにはそれらの主要品種、生産 国、収穫年、そして驚くのは生産者名まで含まれ ているのだ。さらに、挑戦するジョゼフ、ティナ シェ、パードン、マールヴィンの4人とも、ジンバ ブエから南アフリカへの難民であり、しかも南ア フリカに来て初めてワインを知ったという、信じ られないような事実が背景にあるのを知ると、驚 きが倍増する。加えてコーチまでついて、テイス ティングの〈訓練〉が始まるのだから、スポーツ のようだ。その熱心さを見ていると、映画に参加 している気分になり、応援してしまう。

コーチはフランス人のドゥニ・ガレ。南アフリ カの4,500種類のほとんどをテイスティングし、 〈世界のベストソムリエ2007〉 受賞のワインの達 人だ。さらに、4人の頑張りを知ったイギリスのワ イン・ジャーナリストで、女性として初めて〈マ スター・オブ・ワイン〉の称号を与えられ、2003 年にエリザベス女王から大英帝国勲章を授けられ ている、ジャンシス・ロビンソンが積極的に彼ら



©2020 Third Man Films Ptv Ltd.

を応援する。称号名にも、叙勲にも正直なところ 驚いた。日本酒の杜氏にこのような栄誉が与えら れるのだろうか。

さて、いよいよ本番。ジャンシスが率先して寄 付をしたこともあり、クラウドファンディングで 集めた額は8.200ポンド(約1.400.000円)。航空券 を手にして、初めての飛行機でフランスに乗り込 む。出場国は、イギリス、フランス、中国など24 カ国。ワインの故郷にして王国のフランスが1位 どころではない結果だったのは、思いもかけず面 白かったが、ジンバブエチームも残念な結果だっ た。だが、彼らは諦めず翌年も挑戦したのだ。

ところでワインを知らずに育った4人とも、撮 影当時はケープタウンの一流レストランのソムリ エになり、南アフリカのトップ・ソムリエ12に選 ばれるまでに成長していたのである。拍手!それ にしても、ワインを題材にした映画が多い。ワイ ンにはどうして〈物語〉が生まれるのだろうか。

## 《Cinema Information》

## 『チーム・ジンバブエのソムリエたち』

オーストラリア映画(96分) / 監督: ワーウィック・ ロス&ロバート・コー/12月16日(金)よりヒュー マントラストシネマ有楽町ほか全国順次公開

なかのりえ:映画プロデューサー、ディストリビューター。 (株)パンドラ代表。『ハーヴェイ・ミルク』を第1回配給作品 として、これまでに100本を超える映画を配給し、視覚障が い者のための副音声付商業劇場上映を日本で初めて実現。著 書に『すきな映画を仕事にして』(現代書館, 2018)等。